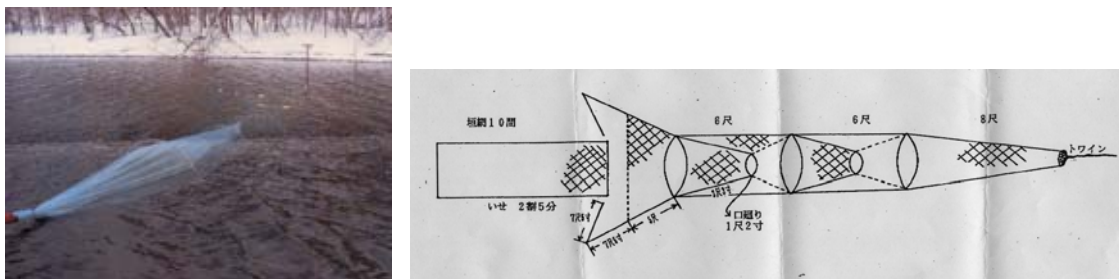


V章 漁業と遊漁

1) 十和田湖増殖漁業協同組合の概要



写真：ふくべ網を設置した様子（左）ふくべ網の構造図（右） 青森県水産総合研究センター提供

十和田湖増殖漁業協同組合（以下「十和田湖増殖漁協」という。）は、昭和27年（1952年）1月1日に設立され、現在の組合員数は50名である。十和田湖増殖漁協は、十和田湖の漁業権を有し、漁業は漁業権に基づいて行われており、漁業権の内容となっている魚種は、ヒメマス、コイ、フナ、サクラマス、エビの5種類である。

行われている漁業の概要は表5-1-1のとおりであり、詳細は漁協の行使規則で定められている。なお、ワカサギは漁業権魚種となっておらず、青森県及び秋田県の両県から許可を受けて、ふくべ網（建網）で採捕している。

表5-1-1 十和田湖で行われている漁業の内容

漁業の名称	漁業の方法	期 間
ひめマス漁業	刺網	10月21日～翌年6月20日
		7月11日～10月20日
こい漁業	地びき網、釣り	7月21日～9月30日
	刺網	6月21日～7月5日
ふな漁業	地びき網、釣り	7月21日～9月30日
	刺網	6月21日～7月5日
さくらマス漁業	刺網	6月1日～6月20日
		12月1日～翌年2月末日
えび漁業	せん	5月1日～11月30日

（十和田湖増殖漁業協同組合行使規則から引用）

2) 漁獲量と増殖

1974年（昭和49年）以降の十和田湖における漁獲量を表5-3-1に示した。漁獲の主体は、ヒメマスとワカサギであり、エビは最近ほとんど漁獲されていない。

1984年（昭和59年）頃まで増加していたヒメマスの漁獲量は、ワカサギが大量に漁獲された1985年（昭和60年）に急激に減少し、それ以降両魚種の漁獲量は大きな変動を繰り返している。

十和田湖増殖漁協では、漁業権魚種の資源の維持・増大のために、種苗放流、産卵床造成に取り組んでいる。

ヒメマスのふ化放流については、戦後、水産庁十和田湖ふ化場または青森県及び秋田県なら成る十和田湖ふ化場協議会が中心となって実施してきたが、1986年（昭和61年）からは、十和田湖増殖漁協が単独で実施しており、2002年（平成14年）にはふ化場が老朽化したため、新十和田湖ふ化場を建設している。

3) 遊漁の状況

1974年以降の遊漁者数（十和田湖漁協の遊漁券発行枚数）を表5-3-1に示した。ヒメマスの遊漁者数は1983年には約16,000人と最高であったが、以後減少傾向にあり、2002年には最低の1,100人となっている。

遊漁の方法については、遊漁規則で区域、時間、その他の制限事項が詳しく定められており、遊漁期間と遊漁料は表5-3-2のとおりとなっている。

表5-3-1 十和田湖における漁獲量及び遊漁者数

年		漁獲量 (kg)					遊漁者数 (人)	
		ヒメマス	ワカサギ	サクラマス	コイ・フナ	エビ	ヒメマス	コイ
1974	S49	18,488		1,399	306	6,403	1,429	6
1975	S50	27,627		2,550	684	3,600	4,746	42
1976	S51	27,985		1,930	252	3,106	3,802	40
1977	S52	34,213		1,691	104	2,260	4,429	89
1978	S53	40,518		1,880	124	3,084	7,230	90
1979	S54	32,814		1,141	422	2,398	9,915	190
1980	S55	41,923		476	426	1,221	10,264	356
1981	S56	52,772		462	535	886	11,914	547
1982	S57	53,368		541	1,092	654	12,405	607
1983	S58	60,259		604	1,312	95	15,575	858
1984	S59	52,266		541	835	48	12,790	1,001
1985	S60	2,306	84,671	768	1,070	450	4,984	
1986	S61	3,008	33,817	490	1,004	873	10,320	
1987	S62	5,526	5,944	506	1,064	22	6,467	
1988	S63	5,933	1,904	401	813	31	3,880	
1989	H1	44,740	1,804	206	1,238	69	<u>7,886</u>	885
1990	H2	21,722	90,788	219	1,071	92	<u>6,430</u>	<u>1,002</u>
1991	H3	19,252	142,181	1,330	1,561	240	5,068	831
1992	H4	2,508	34,079	870	2,231	518	3,504	785
1993	H5	2,655	3,765	420	1,526		<u>1792</u>	<u>696</u>
1994	H6	8,584	6,304	105	1,119		<u>2703</u>	<u>742</u>
1995	H7	4,236	23,217	120	585	9	<u>3158</u>	<u>962</u>
1996	H8	5,433	25,771	128	570		<u>1813</u>	<u>802</u>
1997	H9	14,129	8,280	145	600		<u>2,399</u>	<u>700</u>
1998	H10	39,089	25,309	215	450		<u>4,599</u>	<u>482</u>
1999	H11	15,610	29,318	245	555		<u>3,588</u>	<u>503</u>
2000	H12	2,949	31,563	734	2,392	33	<u>1,844</u>	<u>389</u>
2001	H13	2,899	19,182	616	1,329	14	<u>1,535</u>	<u>372</u>
2002	H14	4,232	49,190	702	1,201	11	<u>1,108</u>	<u>414</u>

注1) 下線または斜体の値以外は、各年度（昭和49年度以降）の十和田湖増殖漁業協同組合業務報告書から引用した。漁獲量は、地区別漁獲量の合計であり、この漁獲量には採卵親魚は含まれていない。

注2) 下線の値は、各年度の青森県内水面水産試験場事業報告書または十和田湖資源対策事業調査報告書に記載されている遊漁券の発行枚数である。

注3) 斜体の値は、十和田湖増殖漁業協同組合からの聞き取りである。

表5-3-2 十和田湖における遊漁

魚種	期間		遊漁料
こい、ふな	7月21日～9月30日		1日 200円 1年 2,000円
ひめます	船釣	10月1日～12月31日 4月1日～6月20日 7月11日～7月20日	1日 2,000円
	岸釣	10月1日～翌年6月20日 7月11日～7月20日	1日 1,000円
さくらます	6月1日～6月20日		船釣 1日 2,000円
	12月1日～翌年2月末日		岸釣 1日 1,000円
えび	周年		1日 1,000円

(十和田湖増殖漁業協同組合遊漁規則から引用)